

207
956

女扇忠臣要

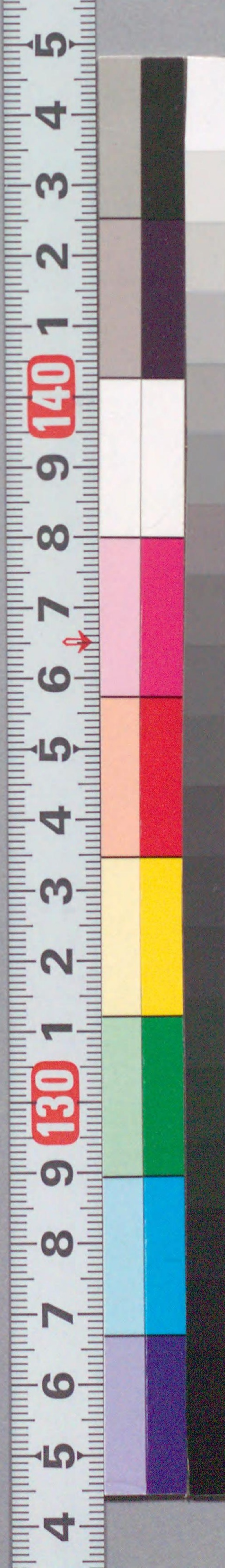
鶴屋南北

素

書

藏

圖



国立国会図書館 女扇忠臣要 6巻 207-956

ガラス使用

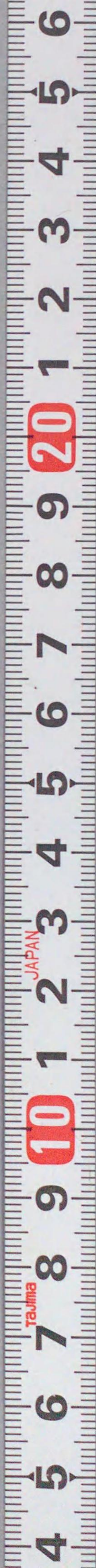
女扇



三つがたき

板元文壽堂





作者 櫻痴の六次書

先づのびりかた

文正十二年の...
 櫻痴の六次書...
 櫻痴の六次書...
 櫻痴の六次書...

櫻痴の六次書

見立 拾遺冊續

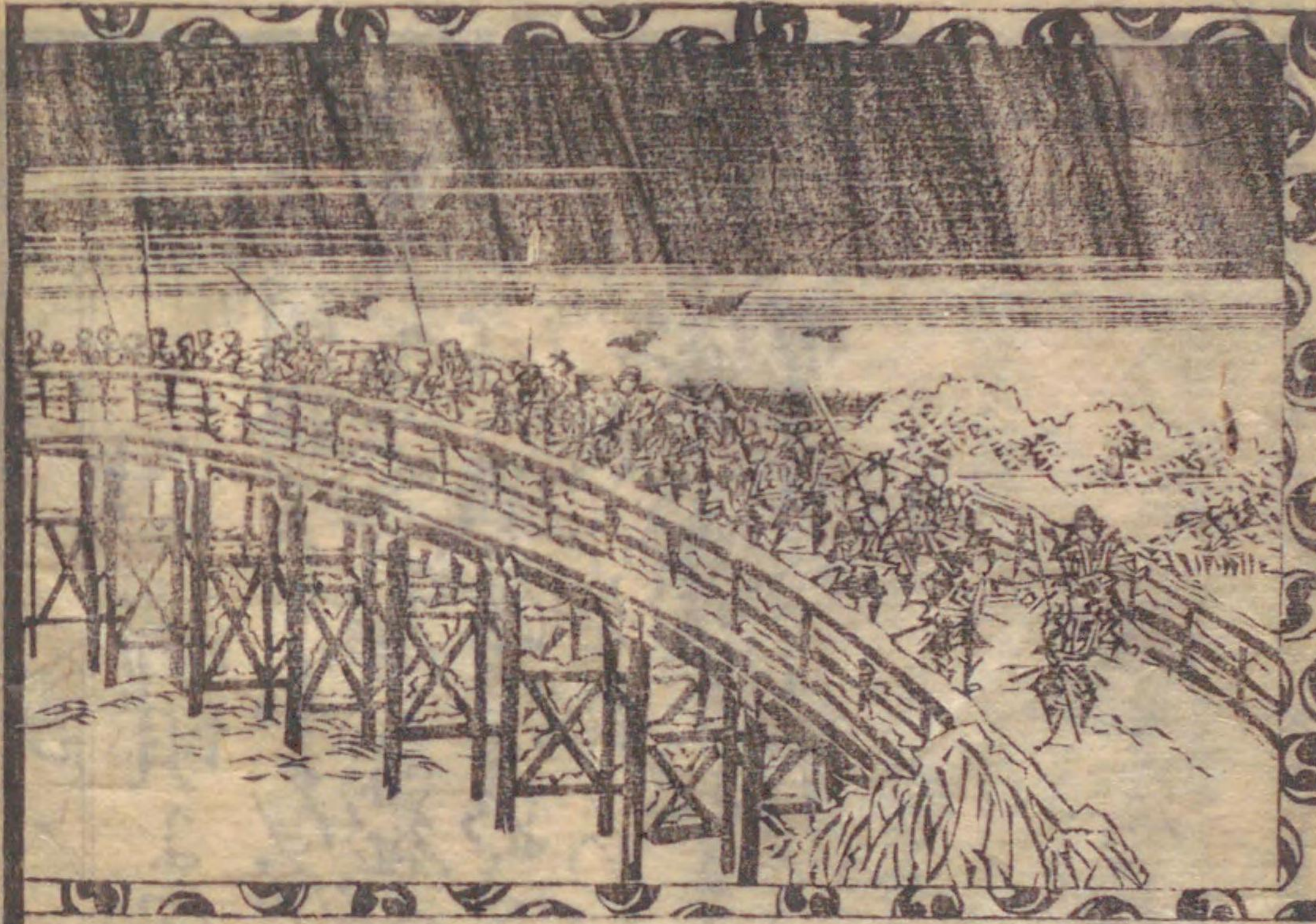
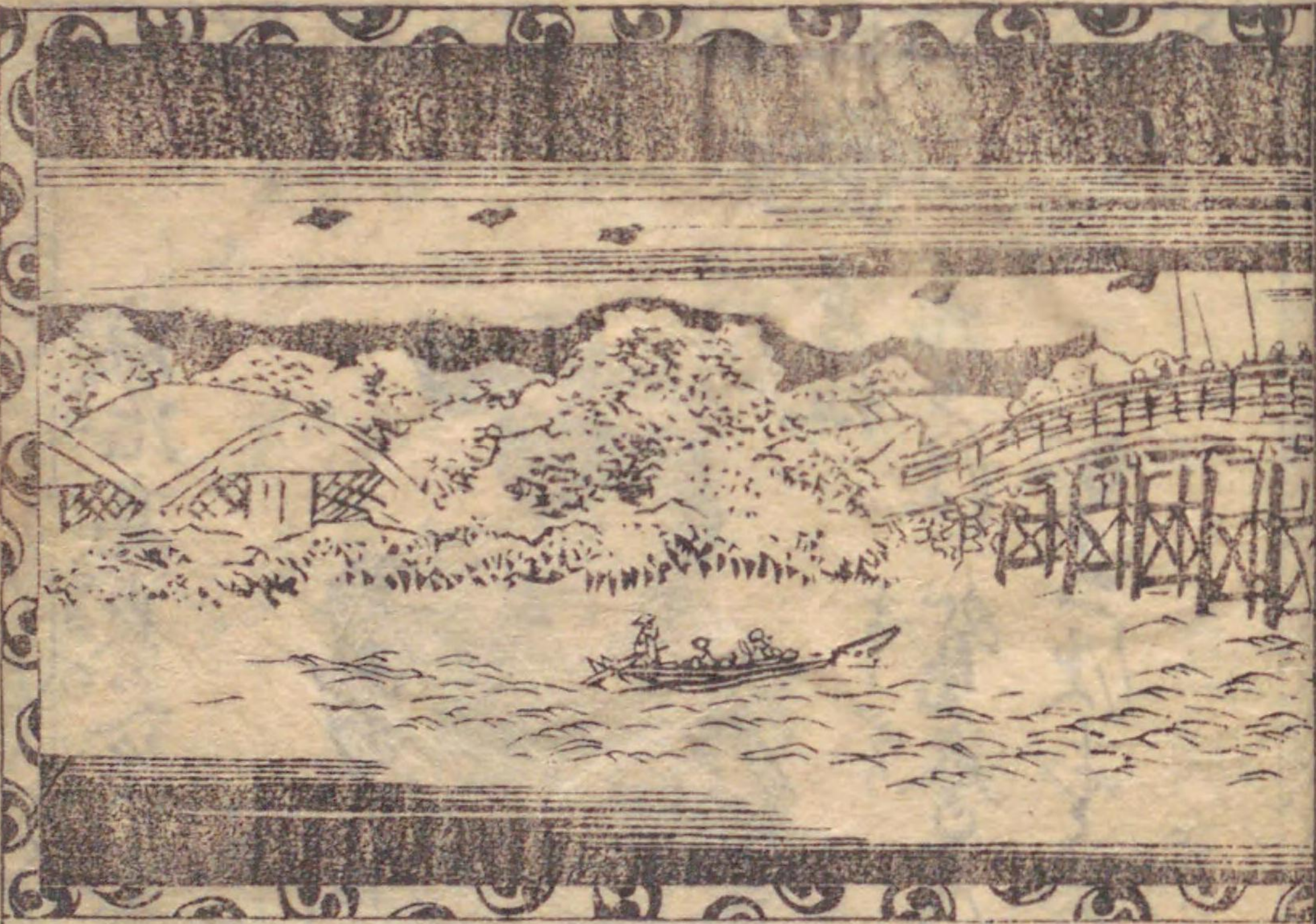
書國の夜亭園貞梓

一第

麥搗唄よ曰

美崎相...
 此れと唄...
 てをかく...
 朝作者...
 於へ...
 は...
 み...
 在郷最中...
 櫻痴の六次書

四平



廿のめ 歌舞伎仕組
千景入

前編 六冊目録

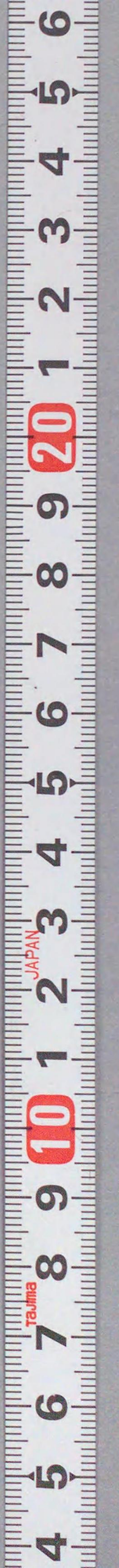
才七 最上小舟出物切定と運上度
才八 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才九 舟をさくら川金まきまきと推しぬく

才六 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才五 舟をさくら川金まきまきと推しぬく

才四 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才三 舟をさくら川金まきまきと推しぬく

才二 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才一 舟をさくら川金まきまきと推しぬく

才九 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才八 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才七 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才六 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才五 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才四 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才三 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才二 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
才一 舟をさくら川金まきまきと推しぬく
目次 去尾



起朝現夢郭
 曉氏露年秋公
 之別志
 之聲



高師直之後室富之方
 後之浮島の庵主
 妙貞尼

女扇

池子屋



なる原 鶯参乃水城ひきみ
 かくはやくもは種ど
 あらうは運むは

塩治高貞之後室

の母よ御前





雪の枝のはま
 松の枝のはま
 雪の枝のはま
 松の枝のはま

加古川本藏の後家
 止名瀬



雪の枝のはま
 松の枝のはま
 雪の枝のはま
 松の枝のはま

早野の勤平の後家
 都祇園の阿流
 阿流の勤平の後家



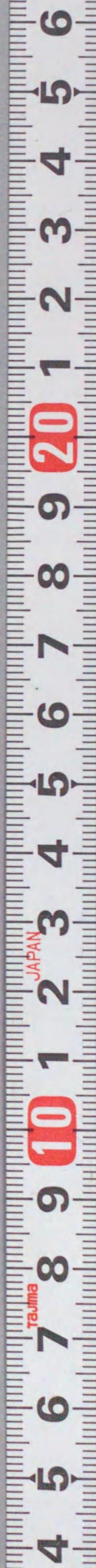


仇八坂夫
 坊下婦丸
 阿の賣切郎
 市賣切郎
 倉後家
 兵衛
 百姓



獅子舞
 狸乃
 角兵衛
 実ハ
 飾間
 宅兵衛

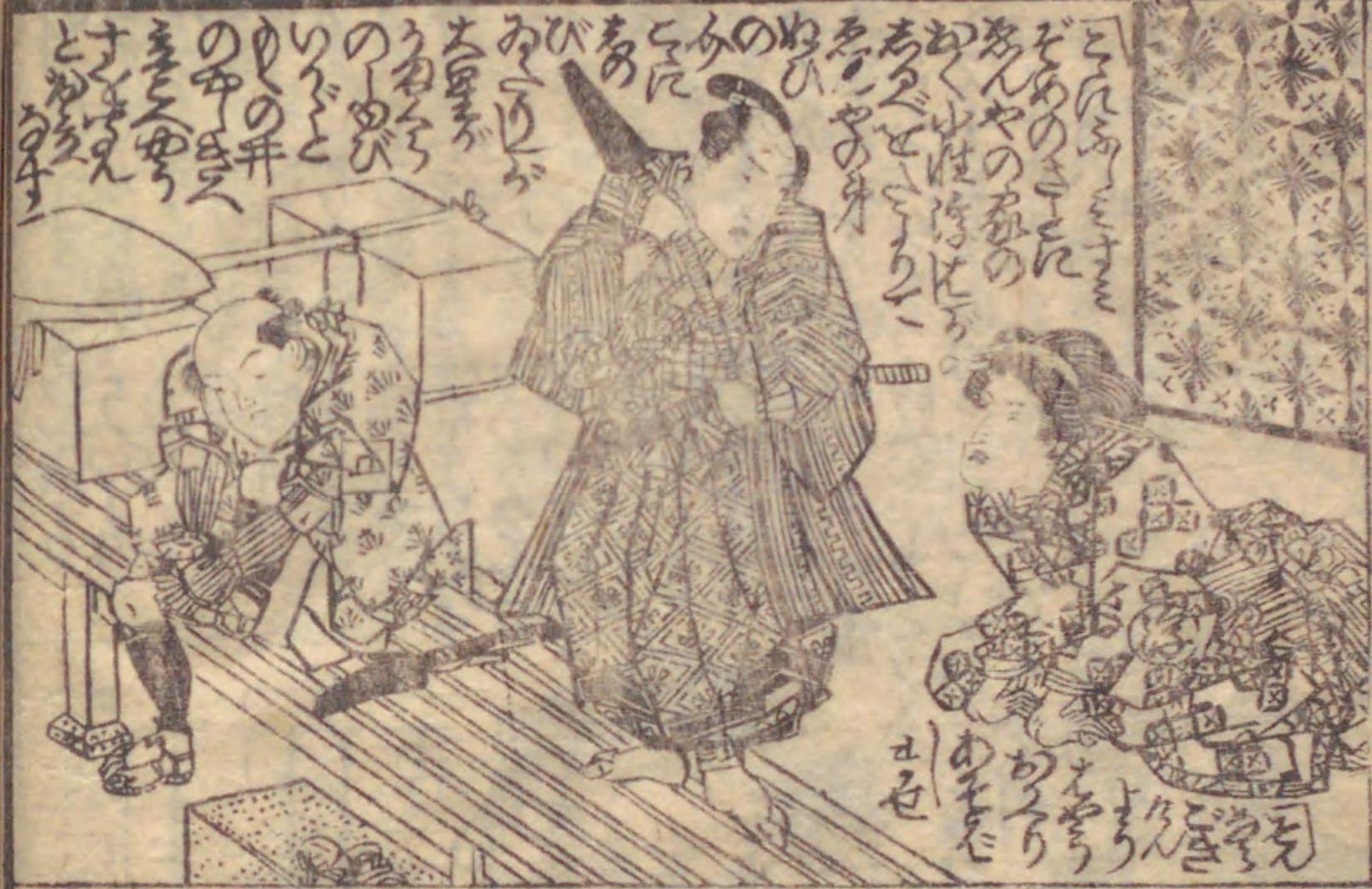




大がらに...
 小田...
 女...
 判...

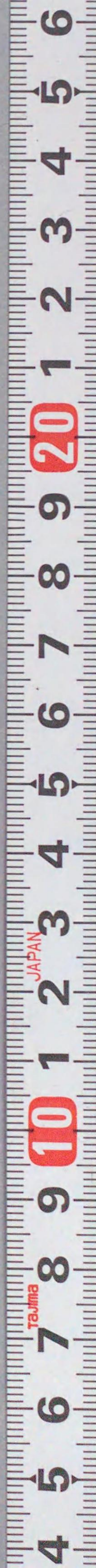


小田...
 判...



判...
 小田...

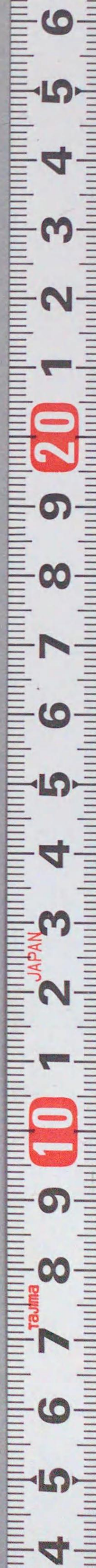






文政九丙戌新板繪冊子目錄

<p>書目鋪地本錦繪問屋 文 江戸神田 弁慶橋北 文壽堂九屋文右衛門</p>	<p>傾城片氣夜梅川 市川三升自作 五渡亭國貞画</p>	<p>盛衰記摺鉢無間 六冊 雪麿作 國貞画</p>	<p>廓春道中双六 六冊 京山人作 五渡亭画</p>	<p>女扇忠臣要書 五冊 鶴屋南北自作 五渡亭國貞画</p>	<p>女船頭矢口之渡 五冊 春町作 國安画</p>	<p>七福神七癖上戸 中本一冊 雪麿作 國貞画</p>	<p>墨川亭雪麿作 歌川國安画</p>
---	--	--	---	---	--	--	--









七

七





女

四

主翁は昔は...
 あつた...
 う...
 中...
 名...
 藤...
 海...
 入...

海...
 名...
 乃...

海瑠理
 名歌
 乃...

女

十三

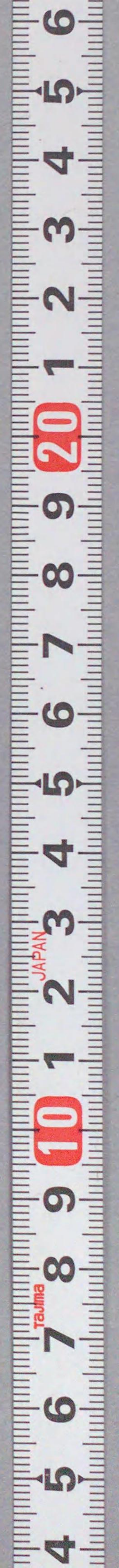






文政九丙戌新板繪冊子目錄

<p>雪解て 風美柳の ほひ髪</p> <p>書目鋪地本錦繪問屋</p>	<p>新肉後の播磨右本 盛衰記摺鉢無問 義なきまのなか</p> <p>雪磨作 六冊 國貞画</p>	<p>廓春道中双六 さこのイもやうりすどろく</p> <p>京山人作 六冊 五渡亭画</p>	<p>女のま本 凌目物語 おの清太郎 おの清太郎</p> <p>女扇忠臣要毒 墨川亭雪磨作 歌川國貞画</p>	<p>女船頭矢口之渡 春町作 五冊 國安画</p>	<p>鶴屋南北自作 五渡亭國貞画</p>	<p>七福神七癖上戸 雪磨作 中本二冊 國貞画</p>	<p>市川三升自作 五渡亭國貞画</p>	<p>文壽堂九屋文右衛門</p>
--	---	--	---	---------------------------------------	--------------------------	---	--------------------------	------------------





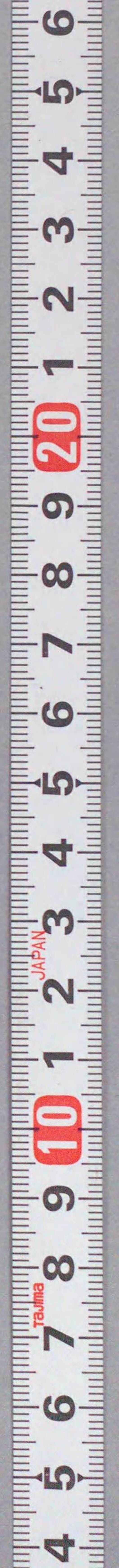
伏稟

輝あがり世所小おおく一寸以上とどのくや上
 なり本に計算書もまじり書年を花編斗
 六段目めくお中一後編六冊の七段目か
 十一段目大切女敵討の備まで末亥年の新
 板と休あをとり書出を入後外れお書
 涉得判よりく也後之程備を希上来る
 先書事のはせり

版元 文書村堂



Handwritten Japanese text in two columns on each page, likely a historical record or a collection of letters. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes various characters and symbols, such as circles and crosses, used as markers or punctuation. The right page has a small red stamp with the number '20'.





女扇

二十九



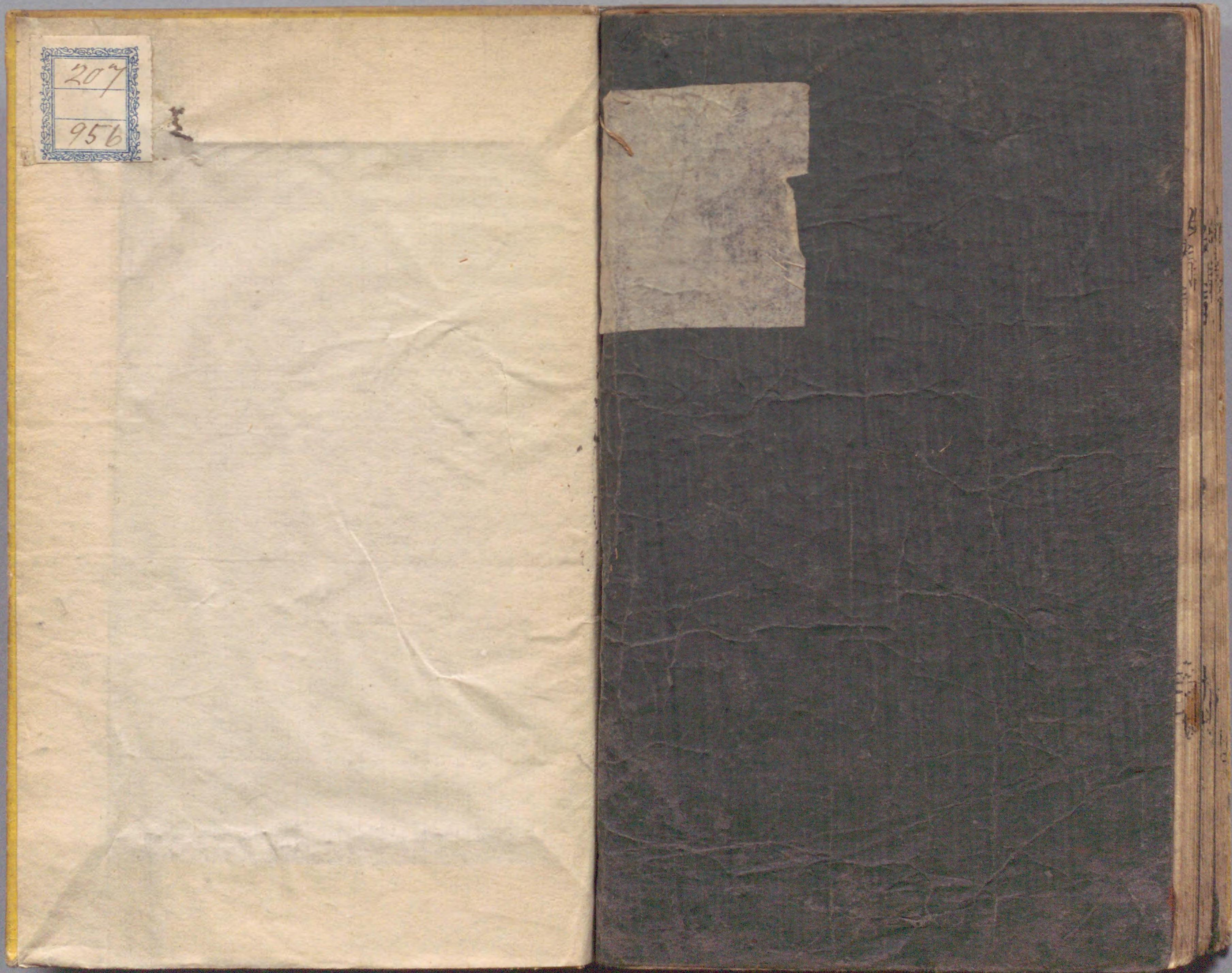
歌川國貞画 鶴屋南北作



一御老人様此の御後
 ぬとこのり賣山以後
 へんと此様へ志のりよ
 此後より中絶極
 なる御上の 板元

美敷仙女香 四十八羽
 江戸神田文壽堂
 弁慶橋通 九屋文右衛門

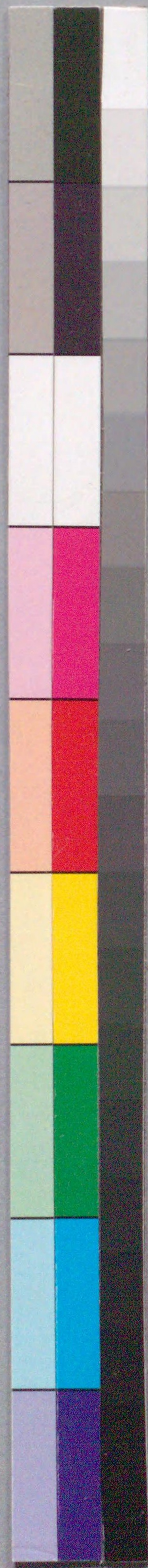
書舗地本錦繪問屋(文)



国立国会図書館 女扇忠臣要 6巻 207-956

ガラス使用





国立国会図書館 女扇忠臣要 6巻 207-956



ガラス使用

